

- 伊那市には、成熟期を迎えた私有林が多く存在しているが、急峻な地形が多いことから伐採や搬出のコストが高く、木材価格の低迷とあいまって森林整備が進まないことが課題となっている。
- このため、成熟期を迎えつつある森林の整備を促進し、森林の持つ公益的機能を増進させることを目的に、林業事業体が国県の補助事業により実施する森林整備に対して、森林環境譲与税を活用した支援を実施。

□ 事業内容

林業事業体が行う森林整備への支援（伊那市森林造成事業補助金）

- ・ 森林経営計画を作成し、林業事業体を実施する間伐や樹種転換事業などで、国県の補助事業により実施する森林整備に対し、支援（10分の2以内のかさ上げ補助）を実施。

【事業費】 43,727千円（うち譲与税43,727千円）

【実績】 搬出間伐 140.95ha 作業道開設21,557m
樹種転換 12.65ha など

□ 取組の背景

- ・ 伊那市の総面積は66,793haで、うち森林面積は54,907haと総面積の約82%を占めている。
- ・ 民有林の面積は34,116ha（公有林24%、私有林76%）であり、そのうちカラマツを主体とした人工林の面積は20,672haと60.6%を占めている。
- ・ 民有林における林齢構成は、人工林では10～12 齢級（46～60 年生）に集中している。



（作業の様子）



（作業の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・ 森林所有者の意識の向上や林業事業体の経営安定に繋がるよう、申請のあった全事業に対して支援を行った。
- ・ できるだけ多くの事業体に活用してもらえようPRを行い、事業の進捗を図った。

□ 取組の効果

- ・ 森林所有者や林業事業体の経済的負担軽減を図ることで、森林整備の促進につながっている。

【間伐等実施面積】 R 6：276.55ha

【作業道の開設】 R 6：21,557m

- ・ 樹種転換の推進により、松くい虫被害の防止にもつながった。

【樹種転換実施実績】 R 6：12.65ha

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：110,515千円		②私有林人工林面積（※1）：12,017ha	
③林野率（※1）：78.7%	④人口（※2）：66,125人	⑤林業就業者数（※2）：182人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より